

平成22年4月6日(火)～8日(木)

森林・林業再生プラン実践事業現地検討会に参加

4月6日(火)～8日(木)の3日間、鶴居村において、国の森林・林業再生プラン実践事業の現地検討会が開かれました。鶴居村は、国の森林・林業再生プランのモデル地区として全国から選ばれた5ヶ所のうちの1ヶ所です。鶴居村森林組合が実施主体となり、大型機械を導入する欧州の先進林業を取り入れ、木材の安定供給体制の構築を目指すものです。

今回は、林業先進国のドイツ・オーストリアからフォレスター(森林官)3名が来村し、ヘリコプターによる事業予定地の調査や現地検討会が行われました。フォレスターからは、現地調査を踏まえ、地域の森林づくり全般及びモデル事業で導入する作業システム等についての提言がありました。

鶴居村森林組合では、今回の提言及び6月頃の欧州視察を踏まえ、林道の路網計画・作業システム・目標林形等を検討し、モデル事業を進めていく予定になっています。
(中島)



オープニングミーティングの様子(6日)



現地調査(林業機械の使用状況、7日)



成長・形質がよい「将来の木」を100本/ha程度選定



「将来の木」の樹冠を邪魔する木2本を間伐木として選定